

平成30年度事業報告書

令和元年6月15日

公益社団法人
愛知県医師会

事業に関する報告書

平成30年度の本会会務の運営並びにその事業の実施状況は、その都度「愛知医報」等でご報告をいたしました。

その大要は次の通りであります。

○ 庶務に関する事項

1. 会員の異動

入 会 921名（県内異動も含む）

退 会 620名（ 〃 ）

死 亡 81名

現在会員数 9,889名〈別表1参照〉

（平成31年3月31日現在）

2. 文書の収受、発送

収 受 20,032件

発 送 371,000件

3. 会員の榮譽

(1) 平成30年春の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り榮譽をたたえました。

瑞宝小綬章 田 中 誠 殿

旭日双光章 伊 藤 宣 夫 殿

瑞宝双光章 齋 藤 一 史 殿

平成30年秋の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り榮譽をたたえました。

旭日双光章 落 合 勲 殿

瑞宝双光章 江 口 善 美 殿

(2) 平成30年愛知県医師会表彰規程による被表彰会員に記念品を贈り表彰いたしました。

北 区 山 根 則 夫 殿

昭 和 区 石 川 清 殿

名 東 区 西 山 朗 殿

春日井市 福 井 雅 子 殿

西尾市

米津昌宏 殿

(3) 平成30年難病の学術的研究に功績のあった会員に記念品を贈り表彰いたしました。

名古屋大学

名誉教授

小島 勢二 殿

名古屋市立大学大学院医学研究科

小児泌尿器科学分野教授

林 祐太郎 殿

藤田医科大学

眼科主任教授

堀口 正之 殿

愛知医科大学

皮膚科教授

渡辺 大輔 殿

4. 物故会員

本年度（平成30年4月～平成31年4月届出分）の物故会員は81名でありました。〈別表2参照〉
謹んでご冥福をお祈りいたします。

○ 事業に関する事項

1. 会 議

(1) 代議員会 3回

- ◆ 愛知県医師会第181回（臨時）代議員会を平成30年5月19日(土)愛知県医師会館において開催し、次の選挙、議事を行いました。

選 挙

- (1) 議長、副議長
- (2) 理事（会長候補者、副会長候補者、理事候補者）
- (3) 監事
- (4) 裁定委員
- (5) 日本医師会代議員、同予備代議員

議 事

- 第1号議案 次期役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員の就任日に関する件
第2号議案 日本医師会代議員、同予備代議員選出及び就任日に関する件

- ◆ 愛知県医師会第182回（定例）代議員会を平成30年6月16日(土)愛知県医師会館において開催し、次の報告、議事、協議を行いました。

報 告

(1) 平成29年度事業報告

議 事

第1号議案 平成29年度決算に関し承認を求めるの件

第2号議案 愛知県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員選任の件

第3号議案 愛知県医師会役員（会長、副会長）選定の件

協 議

控除対象外消費税、在宅医療サポートセンター実績報告

- ◆ 愛知県医師会第183回（臨時）代議員会を平成31年3月16日(土)愛知県医師会館において開催し、次の補欠選挙、報告、議事、協議を行いました。

補欠選挙

愛知県医師会裁定委員

報 告

(1) 平成31年度事業計画報告

(2) 平成31年度予算報告

議 事

第1号議案 平成31年度会費の賦課徴収に関する件

第2号議案 平成31年度会費減免申請に関する件

第3号議案 平成31年度入会金の賦課徴収に関する件

第4号議案 公益社団法人愛知県医師会選挙規則の一部改正に関し承認を求めるの件

協 議

医師の働き方改革、医療における消費税問題（別紙1参照）

(2) 理事会 39回

- ◆ 原則毎月第1木曜日を除く第2～第5木曜日に開催。

内容については、その都度、愛知医報・ホームページ(情報公開)に掲載いたしました。

(3) 各種委員会・部会・協議会・その他

・医学教育の向上

「現代医学」誌編集委員会 2回

「現代医学」誌編集（小）委員会 2回

指導医のための教育ワークショップ 1回

治験審査会	12回
・ 医師の生涯教育	
生涯教育委員会	1回
・ 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究 (調査室)	
調査室委員会	25回
保険医協会との懇談会	6回
医療機関経営セミナー	1回
(愛知県医師会地域医療政策研究機構)	
愛知県医師会地域医療政策研究機構委員会	10回
・ 公衆衛生の指導啓発	
健康教育委員会	6回
環境衛生委員会	4回
愛知県広域予防接種事業運営委員会	4回
愛知県新型インフルエンザ等対策総合訓練	1回
感染症及び結核講演会	1回
感染症・予防接種研修会	1回
・ 地域医療の推進発展	
難治性疾患委員会	1回
愛知県医師会検視医研修会	1回
警察部会幹事会	1回
愛知県医師会警察部会と愛知県警察歯科医会との協議会	1回
麻薬等に関する懇談会	1回
勤務医部会幹事会	6回
愛知県糖尿病対策推進会議	1回
愛知県医師会医療圏医療協議会	1回
四大学連絡協議会	1回
小児在宅医療推進企画委員会	4回
あいち小児在宅医療実技講習会	1回
西三河小児在宅医療講習会	1回
東尾張小児在宅医療講習会	1回
・ 救急医療・災害医療対策	
救急委員会	8回

救急小委員会	1回
災害時医療救護活動における検討会	1回
小児救急連携体制協議会	3回
愛知県における重症小児患者の診療実態に関する症例検討会	1回
災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	1回
愛知県医師会無線システム災害想定訓練	8回
BLS&AED講習会（名古屋市医師会と共催含む）	2回
愛知県救急医療情報センター運営連絡協議会	1回
愛知県・津島市総合防災訓練	1回
県営名古屋空港消火救難総合訓練	1回
小児救急に関する研修会	3回
こどもの命を守るために事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー	1回
小学生のための救急蘇生法講習	20回
愛知県救急医療推進大会	1回
愛知県医師会PTLS講習会	1回
愛知県医師会ICLS研修会	1回
救急医療・災害医療シンポジウム	1回
愛知県災害医療コーディネート研修	2回
・地域保健の向上	
産業保健部会幹事会	6回
学校保健部会幹事会	5回
学校保健部会学校健診委員会	4回
学校保健部会学校健診（小）委員会	1回
学校保健シンポジウム	1回
心電図精度管理調査解析検討会	1回
平成30年度定期健康診断における精度管理説明会	1回
母体保護法指定医師審査委員会	6回
母体保護法指定医師講習会	5回
・医療保険・介護保険の充実	
（医療保険関連）	
社保集団指導講習会並びに医療安全説明会	6回
社保指導委員会	6回
社会保険診療報酬支払基金愛知支部と公益社団法人愛知県医師会との意見交換会	1回

国保連絡協議会	2回
保険診療懇談会	1回
全国健康保険協会愛知支部と公益社団法人愛知県医師会による意見交換会	1回
(介護保険関連)	
地域医療介護委員会	6回
地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会	1回
保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム	1回
所定疾患施設療養費（Ⅱ）にかかる研修会	1回
認知症地域医療研修検討準備委員会	2回
認知症地域医療研修検討委員会	4回
医療従事者の認知症対応力向上研修	3回
かかりつけ医認知症対応力向上研修	2回
認知症サポート医フォローアップ研修	1回
・医療安全対策の推進	
医療安全対策委員会	12回
医療安全対策（小）委員会	10回
医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会	12回
医療安全支援センター（苦情相談センター）小委員会	2回
愛知県医師会剖検システム運営協議会	1回
愛知県医師会剖検システム運営協議会臨時協議会	1回
愛知県医療事故調査等支援団体等協議会幹事会	2回
愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会	1回
・医療施設の整備	
精度管理委員会	2回
精度管理（小）委員会	1回
精度管理研修会	1回
共同施設委員会	1回
・会員の福祉の向上	
会員相談窓口事例検討会	3回
事業概要等説明会	1回
・医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動	
(渉外)	
中部医師会連合常任委員会	13回

中部医師会連合常任委員会懇談会	2回
中部医師会連合日医代議員協議会	2回
中部医師会連合事務局長連絡協議会	2回
中部医師会連合委員総会	1回
中部医師会連合社会保険特別委員会	1回
中部医師会連合介護保険特別委員会	2回
中部医師会連合広域災害・救急医療特別委員会	2回
関西医師会連合常任委員会	1回
(IT化対策)	
ホームページ・IT化対策委員会	5回
(広報)	
広報委員会	11回
報道関係者との懇談会	2回
・医師・医療関係従事者対策	
(医師確保対策事業の推進)	
男女共同参画委員会	5回
医学生、研修医等をサポートするための会	1回
女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会	1回
愛知県医師会・名古屋市医師会 新研修医並びに指導医ウェルカムパーティ	1回
(医療従事者対策)	
医療関連職検討委員会	2回
愛知県看護協会との懇談会	1回
医療事務員講習会	30回
医療事務員資格認定試験	1回
病院事務職員のための教育ワークショップ	2回
学校法人電波学園あいちビジネス専門学校の日本医師会認定医療秘書養成に 関する運営委員会	2回
・会務運営・総務・財務	
県下医師会長等協議会	7回
議事運営委員会	3回
人事委員会	5回
選挙管理委員会	4回
監事会	1回

臨時監事会	1回
日医代議員と本会役員との合同協議会	3回
・その他	
倫理委員会	1回

2. 業 務

(1) 諸調査の実施

- 1) 救急患者実態調査
- 2) 休日診療所における救急患者実態調査
- 3) 小児時間外救急の実態調査
- 4) 急性期脳卒中に関するアンケート調査
- 5) 急性心筋梗塞に関するアンケート調査
- 6) 気管支喘息発作に関するアンケート調査
- 7) 熱傷入院患者取扱実績報告
- 8) 愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査（1次・2次）
- 9) アナフィラキシーに関するアンケート調査
- 10) 学校医・園医報酬調査
- 11) 貴県（中部7県・大都府県）における個別指導等の状況に関するアンケート調査
- 12) 貴県（中部7県）における個別指導の実施体制に関するアンケート調査
- 13) 在宅医療の提供と連携に関する実態調査
- 14) 在宅医療・介護連携推進事業の運営状況に係るアンケート調査
- 15) 地域支援事業（在宅医療・介護連携推進事業）に関するアンケート調査
- 16) 医療機関に退職されている水銀血圧計等回収事業の保有量調査
- 17) 育児期継続就労支援に関するアンケート調査
- 18) 認知症サポート医活動実態調査に関するアンケート
- 19) 医療事故調査・支援センターへの報告に関するアンケート
- 20) 衛星携帯電話の所有状況に関するアンケート調査
- 21) 本年4月27日から5月6日までの10連休における医療提供体制の確保に関する対応に関する調査

(2) 会報・医学雑誌その他の発行

- ・愛知医報
- ・「現代医学」誌 第65巻1号（Web版）・第65巻2号（Web版）

(3) 医学教育の向上

・現代医学

「現代医学」誌編集委員会において、第66巻2号（平成30年12月号）・67巻1号（令和元年6月号）・第67巻2号（令和元年12月号）の掲載内容を検討いたしました。

「現代医学」誌においては、第65巻1号(Web版)・第65巻2号(Web版)を発行いたしました。また、第66巻1号・第66巻2号につきましては、発行に向け編集作業を行いました。

・スポーツ医学

1) 健康スポーツ医の養成とその資質向上を通して地域保健活動の一環である健康スポーツ医活動の推進を図るために、日本医師会が定めた講習科目に基づく健康スポーツ医学講習会を修了したと認められる医師に、日本医師会認定健康スポーツ医の認定証が交付されます。本会ではその新規・更新に係る手続きを4月27日(金)、6月26日(火)、10月29日(月)、12月26日(水)、2月25日(月)に行いました。

2) 各団体が実施する研修会において、日本医師会認定健康スポーツ医制度における健康スポーツ医学再研修会としての承認申請の手続きを4月27日(金)に行いました。また、日本医師会承認の健康スポーツ医学再研修会を愛知医報第2071号（平成30年6月1日号）に掲載して周知いたしました。

3) 本会主催の日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会を本会館地下健康教育講堂において3回開催いたしました。第1回は、12月14日(金)に、「サッカー競技におけるスポーツ外傷の治療について－オリンピックチームメディカルサポートの実際－」と題し、昭和大学藤が丘病院整形外科准教授高木 博先生にご講演いただき、49名の参加者がありました。第2回は、2月25日(月)に、「高齢者のフレイル/プレフレイルとバランス訓練ロボット」と題し、国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部 尾崎健一先生にご講演いただき、74名の参加者がありました。第3回は3月26日(火)に、「陸上競技障害の原因と予防」と題し、中部大学生命健康科学部スポーツ保健医療学科教授 横江清司先生にご講演いただき、90名の参加者がありました。各研修会の参加者には受講証明書を交付いたしました。

・治験推進事業

1) 先駆的な新薬開発に携わるという学術的な意義を会員に理解していただくことを目的として、臨床試験及び製造販売後臨床試験等の実施ネットワークを構築かつ推進するため、治験依頼者からの治験相談、治験実施医療機関の登録及び環境整備の支援を行いました。

2) 主として製薬会社主導の治験審査を行っており、会員治験実施医療機関が治験を安全かつスムーズに行えるよう、毎月治験審査会を開催いたしました。なお、本期間中の新規案件は2件でした。

(4) 医師の生涯教育

・生涯教育

- 1) 「日本医師会生涯教育講座」を8月～11月に8回開催いたしました。(別表3参照)
- 2) 平成30年度より「日本医師会 全国医師会研修管理システム」を本会及び県下各地区医師会にて運用を開始し、平成30年度日本医師会生涯教育制度の単位申請にあたり、審査及び登録を行い、主催者から提出される報告書を元に、上記システムに受講実績を登録いたしました。

(5) 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

・調査室

- 1) マスメディア・業界誌はもとより、日医・関係団体、国会・地方議員、行政、有識者等の幅広い人脈を活かし、医療問題に限らずそれに影響する国内外の政治情勢、経済動向などに関する情報を収集し、議論を重ねました。その上で、あるべき医療政策の実現に向けて必要な提言・要望を行い、安心・安全な医療提供体制を維持する上で、健全な医業経営に向けた環境整備が必要であるとの考えのもと、関係法令の解釈、診療報酬改定や税制改正に伴う影響等についても検証いたしました。
- 2) 日医医業税制検討委員会に委員として参加し、会長諮問事項について検討・協議いたしました。5月には「『医療における税制上の諸課題及びあるべき税制』について」と題した答申を行いました。
- 3) 医療関係制度を始め、近年注目される事項についての最新知見を愛知医報に調査室だよりとして掲載し、会員への周知をいたしました。
- 4) 平成30年度医療機関経営セミナーとして、愛知県医師会、日本医師会、TKC医業・会計システム研究会の3者による共催で9月15日(土)にテーマ1「クリニックの事業承継」をTKC医業・会計システム研究会税理士の平井基也氏に、テーマ2「医療と消費税」 「医業の事業承継税制」を日本医師会副会長の今村 聡先生にそれぞれご講演いただき、106名の参加者がありました。

・愛知県医師会地域医療政策研究機構

毎月1回委員会を開催し、「医師偏在対策」、「医師の需給推計」、「医師の働き方」、「地域医療構想」、「医療法及び医師法の一部改正」等について議論を行いました。

(6) 公衆衛生の指導啓発

・健康教育

- 1) 健康教育委員会では、健康教育講座、あいち健康ナビの運営や広報活動等について検討・

協議いたしました。

- 2) 県民を対象とした健康教育講座を各分科医会の協力のもと、本会館において12回開催いたしました。また、名古屋市外での地域開催を12回開催いたしました。(愛知県泌尿器科医会、豊橋市医師会、豊田加茂医師会、碧南市医師会、新城市医師会、日本女医会愛知県支部)〈別表4参照〉
- 3) 県民向けに「誰もが・いつでも・どこでも」正しい健康情報を手に入れられるよう、愛知県の委託事業として、健康情報の総合サイト「あいち健康ナビ」を運用しております。セミナー、イベント情報の充実を図るため、県内の病院等(会員機関等)、99機関(3月29日現在)に本サイトよりセミナーやイベント情報を発信する投稿団体としてご登録いただいております。

・環境衛生

- 1) 感染症、予防接種、環境保健、結核等対策につきまして、県当局と連携し、地域医師会への情報提供を行いました。
- 2) 愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課が主催する関係会議へ出席し、各種事項について検討・協議いたしました。
- 3) 医療機関に退蔵されている水銀血圧計等事業に参加する医師会に保有量調査を行いました。回収量の確定後、10月・11月の2期に分け、参加地区医師会を回収拠点として、水銀血圧計2,063台、水銀体温計3,665本、詰替用水銀約7kgを回収いたしました。
- 4) 平成30年度結核・感染症対策講習事業として、名古屋市医師会・瀬戸旭医師会・碧南市医師会に事業を委託し、愛知県医師会でも10月13日(土)に「平成30年度感染症及び結核講演会」を開催し、「性感染症の現状－急増している梅毒の診断・治療を中心に－」と題し、一般社団法人日本性感染症学会理事長・三田市民病院事業管理者兼院長荒川創一先生、「結核の院内感染対策」と題し、公益財団法人結核予防会結核研究所企画主幹吉山崇先生にご講演いただき、146名の参加者がありました。
- 5) 11月9日(金)に、政府全体訓練と連携した愛知県新型インフルエンザ等対策訓練を実施し、県下医師会のご協力のもと、情報伝達訓練を行いました。
- 6) 3月2日(土)にエイズ予防財団の委託研修として、また、子ども予防接種週間に鑑み、「感染症・予防接種研修会」を開催し、「日常化するHIV感染症」と題し、横浜市立市民病院感染症内科科長立川夏夫先生、「麻疹風疹おたふく水痘の感染症対策と定期接種になりそうなワクチンについて」と題し、名鉄病院予防接種センター顧問宮津光伸先生にご講演いただき、227名の参加者がありました。

・広域予防接種事業

- 1) 愛知県広域予防接種事業運営委員会では、事故報告への対応、今後の対象ワクチン、各

種検討事項等の検討・協議いたしました。

2) 平成31年度の本事業への協力依頼を2,590医療機関へ送付いたしました。

3) 毎月20日に接種協力医療機関・医師名簿を更新し、愛知県に提出しています。

また、課題や間違い、書類の返戻など各種事項に対し、講習会等を通じ、留意事項として伝達いたしました。

4) 3月1日現在で、2,593医療機関にご登録いただいております。

(7) 地域医療の推進発展

・医療連携

(医療計画)

各医療圏の病院関係者等が地域特性に応じた医療連携を視野に入れ、具体的な事案の意見交換並びに活動を通じ、それぞれの医療圏における保健・医療・福祉提供体制の整備及び充実を図ることを目的とし、愛知県医師会医療圏医療協議会を設けております。今年度は12月3日(月)に栄ガスビルにて開催し、「医療法及び医師法の一部改正について」「地域医療構想調整会議(推進委員会)の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準について」を全体で議論いたしました。

(病診連携)

地域医療支援病院の運営委員会や、大学の運営協議会等の委員として出席し、地域の病診連携の現状及びその問題点の把握に努めました。

・四大学連絡協議会

6月28日(木)に、名古屋大学、名古屋市立大学、藤田保健衛生大学、愛知医科大学の学長、医学部長、病院長にご出席いただき、愛知県地域医療構想を協議することを目的とした協議会を開催いたしました。

・難治性疾患対策

1) 難病相談室の平成30年度の相談件数は2,480件で、月平均の相談件数は207件でした。〈別表5参照〉

2) 4月26日(木)、5月30日(水)、12月27日(木)に開催された「愛知県指定難病審査会」に出席いたしました。

3) 7月25日(水)に岡崎市保健所で開催された「平成30年度岡崎市難病対策ネットワーク会議」に出席し、難病相談室での支援内容について報告いたしました。

4) 8月3日(金)に愛知県三の丸庁舎にて開催された「名古屋市難病対策地域支援ネットワーク会議」に出席いたしました。

5) 愛知県から難病指定医等研修実施事業の委託を受け、協力難病指定医研修を8月5日

- (日)、12月9日(日)に開催し、23名の受講者がありました。
- 6) 愛知県から難病指定医等研修実施事業の委託を受け、難病指定医研修を8月5日(日)、12月9日(日)に開催し、36名の受講者がありました。
 - 7) 9月3日(月)、2月1日(金)に開催された「平成30年度愛知県小児慢性特定疾病児童等地域支援協議会」に出席いたしました。
 - 8) 9月17日(月・祝)にウインクあいちにて開催された「第46回愛知県難病団体連合会定期大会」に参加いたしました。
 - 9) 「難病講習会」を10月17日(水)、10月25日(木)、11月2日(金)に愛知県、名古屋市と共催にて開催し、計353名の参加者がありました。
 - 10) 11月15日(木)に愛知医科大学で開催された「平成30年度保健所・難病医療ネットワーク連携会議」に講師を派遣いたしました。
 - 11) 11月28日(水)に中部盲導犬協会盲導犬総合訓練センターで開催された「平成30年度視覚障害リハビリテーション・補助犬関連施設合同説明会」に参加し、難病相談室での支援内容について報告いたしました。
 - 12) 11月30日(金)に名古屋市名東保健センターで開催された「平成30年度神経難病患者と家族のつどい」に講師を派遣いたしました。
 - 13) 12月3日(月)に江南保健所で開催された「平成30年度在宅介護関係者向け研修会」に講師を派遣いたしました。
 - 14) 12月6日(木)に瀬戸保健所で開催された「平成30年度瀬戸保健所難病対策地域協議会」に出席いたしました。
 - 15) 12月7日(金)に名古屋市北保健センターにて開催された「医療生活相談会」に講師を派遣いたしました。
 - 16) 12月20日(木)に愛知県自治センターにて開催された「平成30年度愛知県難病医療連絡協議会・連絡会(合同会議)」に出席いたしました。
 - 17) 2月25日(月)に衣浦東部保健所にて開催された「平成30年度難病対策地域協議会」に出席いたしました。
 - 18) 「難病グループワーク(疾患別患者・家族のつどい)」を以下のように実施し、計80名の参加者がありました。

10月30日(火)	網膜色素変性症患者・家族のつどい
11月7日(水)	潰瘍性大腸炎患者・家族のつどい
12月19日(水)	難病のある人の就労勉強会
1月11日(金)	障害年金勉強会①
1月30日(水)	障害年金勉強会②

19) 3月18日(月)に「平成30年度難病講演会」を開催いたしました。「人工呼吸器使用等在宅難病患者さんの療養と安全」をテーマに、公益財団法人東京都医学総合研究所主席研究員小倉朗子氏にご講演いただき、167名の参加者がありました。

・糖尿病対策

- 1) 「世界糖尿病デー」ブルーライトアップ(11月)事業の経費補助について、愛知県糖尿病対策推進会議が窓口となり実施団体を取り纏めて、世界糖尿病デー実行委員会への申請を行いました。
- 2) 12月19日(水)に「平成30年度愛知県糖尿病対策推進会議」を開催し、愛知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて検討いたしました。
- 3) 3月24日(日)にデザインホールにおいて「平成30年度愛知県糖尿病対策推進会議 学術講演会」を開催し、134名の参加者がありました。
- 4) 愛知腎臓財団理事会、愛知県健康づくり推進協議会、愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会、愛知県健康づくり推進協議会健康増進部会に出席し、検討・協議いたしました。

・在宅医療

- 1) 在宅医療推進研修事業の一環として「せん妄対策研修会」を開催し、12月22日(土)93名・1月26日(土)55名・2月16日(土)55名、計203名の参加者がありました。また、「摂食・嚥下機能支援に関する研修会」を開催し、2月8日(金)72名・3月5日(火)205名、計277名の参加者がありました。
- 2) 県下各地区医師会を対象にして、6月に「在宅医療・介護連携推進事業の運営状況に係るアンケート調査」、7月に「在宅医療の提供と連携に関する実態調査」を行いました。また、2月に改めて「地域支援事業(在宅医療・介護連携推進事業)に関するアンケート調査」を行い、その結果と平成29年度に開催した在宅医療サポートセンター事業の成果報告会、野田正治理事による「在宅医療サポートセンター事業の成果と今後の展望～在宅医療サポートセンター事業 実績3年間の振り返り～」をテーマにした報告を主な内容にした、『愛知県医師会在宅医療サポートセンター事業実績報告』を刊行し、関係機関に配付しました。
- 3) 新生児集中治療管理室(NICU)等で長期の療養を要した児を始め、在宅医療を必要とし人工呼吸器を装着している障害児や日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児(以下「医療的ケア児」という。)が在宅で安心して療養するには、医療的ケア児やその家族が必要な訪問診療や訪問看護などの医療を受けながら生活することができる体制の整備が重要であります。本会では愛知県より小児在宅医療普及推進事業を受託し、医師、医療従事者を対象に医療的ケア児の治療に関する研修などを実施し、医療的ケア児に対応できる人材を育成することで退院支援から生活の場における療養支援、急変時

の対応など継続した小児在宅医療連携体制の構築を図りました。

ア) あいち小児在宅医療実技講習会を10月14日(日)に開催し、63名の受講者がありました。

イ) 西三河小児在宅医療講習会を11月17日(土)に開催し、146名の受講者がありました。

ウ) 東尾張小児在宅医療講習会を2月9日(土)に開催し、32名の受講者がありました。

・警察

検視立会医に対し、検視医研修会を10月27日(土)に開催いたしました。

愛知県警察本部刑事部捜査第一課検視官室長の早川元博氏から「愛知県における検視・検案について」、愛知医科大学医学部法医学講座教授の妹尾 洋先生から「外表所見だけでは判断しにくい事例について」と題してご講演いただき、54名の参加者がありました。

・勤務医

勤務医の学術の向上、勤務環境の改善、福祉の増進、相互の連帯・親睦を図ること等を目的として勤務医部会を設置しており、会員勤務医の医師会諸活動への参加を促すとともに、医師会未加入の勤務医にも医師会活動全般をより深く理解していただき、医師会への入会を働きかけるよう様々な勤務医対策の検討を行っており、以下のとおり活動いたしました。

- 1) 隔月開催の定例幹事会において、働き方改革や新専門医制度等、勤務医が関わる問題について検討いたしました。
- 2) 広報活動としては、「愛知医報」の「勤務医部会だより」に、幹事会議事内容の報告や、幹事が交代で執筆したコラムを掲載いたしました。
- 3) 11月3日(土・祝)には長崎県で「全国医師会勤務医部会連絡協議会（テーマ: 明日の勤務医の働き方を考える～西洋医学発祥の地長崎からの提言～）」が開催され、本部会から6名が出席いたしました。
- 4) 愛知県勤務医師生活協同組合と連携し、勤務医の福利厚生の上にも力を入れました。
6月20日(水)には、愛知県勤務医師生活協同組合総会に先立ち、「アウトブレイクをおこさない感染管理をめざして」と題して名古屋市立大学病院感染制御室教授中村 敦先生にご講演いただき、54名の参加者がありました。
- 5) 愛知県勤務医医師名簿（平成30年7月1日現在）を発刊し、掲載にご協力いただいた医療機関等に配付いたしました。

・自殺対策

- 1) うつ病の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図るため、厚生労働省「かかりつけ医等心の健康対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、以下のとおり研修会を開催いたしました。

7月29日(日) 13:00～17:00 名鉄ニューグランドホテル 参加者: 46名

10月28日(日) 13:00～17:00 メルパルク名古屋 参加者: 42名

1月27日(日) 13:00~17:00 ホテルアソシア豊橋 参加者:36名

- 2) アルコール依存症の早期発見・介入等を行い、一層のアルコール健康障害対策の推進を図ることを目的とし、「かかりつけ医等のアルコール依存症対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、以下のとおり研修会を開催いたしました。

2月4日(月) 15:00~17:00 デザインホール 参加者:28名

・日医電子認証センター(日本医師会認証局)

医師資格証の受渡し業務として、本会にて1件実施いたしました。

9月末日で愛知県内の登録者数は329名(内愛知県医師会非会員8名)です。

・日医かかりつけ医機能研修制度

- 1) 平成29年度より本研修制度修了申請の受付を開始し、平成30年4月1日付にて23名を認定し、「日医かかりつけ医機能研修制度認定証」を交付いたしました。
- 2) 日医かかりつけ医機能研修制度平成30年度応用研修会をテレビ会議にて5月20日(日)に開催し、愛知県医師会館及びリモート会議システムを導入している8地区医師会(瀬戸旭、半田市、春日井市、尾北、豊橋市、岡崎市、碧南市、豊田加茂)にて、計524名の参加者がありました。

(8) 救急医療・災害医療対策

・災害・救急医療対策

- 1) 愛知県医師会無線システム並びに愛知県広域災害・救急医療情報システム、災害時優先携帯電話の運用訓練を6月5日(火)、7月3日(火)、8月7日(火)、10月2日(火)、11月6日(火)、12月5日(水)、2月6日(水)、3月5日(火)に行い、無線機等の使用方法の確認と災害を想定した訓練を行いました。
- 2) 6月10日(日)に愛知県医師会館にて医師、医療従事者、消防関係者対象の災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会を開催し、160名が参加し、修了証を交付いたしました。
- 3) 8月26日(日)に愛知県・津島市総合防災訓練に参加し、応急救護所の開設・運営、遺体の身元確認等の検案作業を行いました。また、新たに愛知県医師会の啓発活動を行いました。
- 4) 日本医師会、厚生労働省、総務省消防庁が作成した救急医療週間ポスター、CAB+Dカードの配付を行い、救急週間の啓発に努めました。また、9月7日(金)に愛知県医師会館にて愛知県救急医療推進大会を開催し、愛知県救急医療情報センター顧問・愛知医科大学名誉教授野口 宏先生より「救急・災害医療提供体制等の在り方に関する検討会(厚生労働省)と愛知県における取り組み状況について」、杏林大学医学部救急医学教室主任教授山口芳裕先生より「ラグビーW杯にむけた集団災害医療」をテーマにご講演いただ

きました。さらに、日本救急蘇生普及協会・名古屋市応急手当研修センターの協力により、救急蘇生法講習・応急手当講習を行い、県民への救急医療に関する知識普及と医療関係者の意識の高揚を図り、延べ229名の参加者がありました。

- 5) 「小児救急に関する研修会」を以下のとおり開催し、393名が参加し、修了証を交付いたしました。

6月27日(水) 愛知県医師会館 参加者：231名

11月26日(月) 豊川市民病院 参加者：75名

3月12日(火) 愛知県医師会館 参加者：87名

- 6) 「こどもの命を守るために 事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー」を保育園または幼稚園に勤務している方を対象に以下のとおり開催し、95名が参加し、修了証を交付いたしました。

7月23日(月) ウィンクあいち 参加者：95名

- 7) 平成30年度より「小学生のための救急蘇生法講習」を愛知県内の小学校6年生を対象として開催し、20校1,618名の児童が参加いたしました。

- 8) 9月20日(木)に県営名古屋空港消火救難総合訓練に参加し、本会役職員の派遣、地区医師会から医療救護班を派遣いたしました。

- 9) 9月22日(土)に名古屋市医師会との共催によるBLS&AED講習会を名古屋市医師会館にて、12月15日(土)に本会主催によるBLS&AED講習会を春日井市民病院にて開催し、医師、医療従事者等を含め80名が参加し、修了証を交付いたしました。

- 10) 6月28日～7月8日にかけて、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録された台風7号及び梅雨前線等の影響による平成30年7月豪雨において、JMAT（日本医師会災害医療チーム）を編成し、岡山県倉敷市へ7月20日(金)・21日(土)に第1陣、22日(日)・23日(月)に第2陣を派遣し、医療救護活動を行いました。

- 11) 9月22日(土)～9月24日(月・祝)の3日間に行われた2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知に救護スタッフとして18名の医師を派遣いたしました。

- 12) 11月11日(日)に愛知県医師会館にて医師を対象に愛知県医師会PTLS講習会を開催し、26名が参加し、修了証を交付いたしました。

- 13) 11月3日(土)に医師等を対象、1月14日(月・祝)にはロジスティック要員を対象とした愛知県災害医療コーディネーター研修を愛知県・愛知医科大学との共催により愛知県医師会館にて開催し、保健所・災害拠点病院関係・県下医師会など110名の参加者がありました。

- 14) 2月3日(日)に名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターにて愛知県医師会ICLS研修会を医師・看護師を対象に開催し、38名の参加者がありました。

- 15) 3月2日(土)に愛知県医師会館にて第37回救急医療・災害医療シンポジウムを「豪雨災害－予測し得る災害、その対策を考える－」をテーマに開催し、161名の参加者がありました。
- 16) 3月10日(日)に「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2019」に救護スタッフとして医師10名を派遣いたしました。
- 17) 災害時の安否確認を目的とした「災害時安否情報確認システム」について、業者及び名称等を変更の後、救急委員会を中心に運用することといたしました。名称を、AKKシステム（愛知県医師会緊急確認システム・Safetylink24）とし、A会員を対象に登録促進を行いました。

・救急医療情報システム

救急患者実態調査、休日診療所における救急患者実態調査、急性期脳卒中に関するアンケート調査、熱傷入院患者取扱実績報告における調査、小児時間外救急の実態調査、アナフィラキシーに関するアンケート調査、愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査、気管支喘息発作に関するアンケート調査、急性心筋梗塞に関するアンケート調査を昨年引き続き、実施いたしました。また、衛星携帯電話の所有状況に関するアンケート調査を新たに実施いたしました。

(9) 地域保健の向上

・産業保健

- 1) 産業医学振興財団の委託事業である産業医研修事業について、産業医研修として、リフレッシュ研修、スキルアップ専門研修、スキルアップ実地研修を日本医師会認定産業医研修会として、産業医研修連絡協議会を本会産業保健部会幹事会として実施いたしました。また、地区医師会、関係団体等の行う日本医師会認定産業医研修会に共催いたしました。
- 2) 日本医師会認定産業医については、新規申請者154名及び更新申請者1,012名が認定を受けました。
- 3) 日本医師会産業保健委員会に委員として参加し、産業保健活動における制度改正等について、検討・協議いたしました。

・学校保健の推進

- 1) 学校保健部会幹事会・学校健診委員会において、学校医・園医報酬、県立高等学校並びに県下小中学校の心電図精度管理等について、検討・協議いたしました。
- 2) 愛知県教育委員会、愛知県学校保健会等の関係会議へ出席し、各種事項について検討・協議いたしました。また、愛知県学校保健会の行事に参加いたしました。
- 3) 7月1日(日)に心電図精度管理調査解析検討会を開催し、健診機関、教育委員会から提出

された心電図に関し、学校健診委員会の委員を中心に解析を行いました。

- 4) 日本医師会学校保健委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 5) 10月27日(土)に第49回全国学校保健・学校医大会（鹿児島市）が開催され、本会からも出席いたしました。メインテーマは「子どもは国の宝。次代を担う子ども達の健やかな成長を願って～学校医の果たす社会的意義～」で、分科会にて長嶋正實先生が発表いたしました。
- 6) 3月19日(火)に平成31年度定期健康診断における精度管理説明会を開催し、平成31年度に愛知県立学校の健診を実施する10の健診機関を対象に、愛知県立学校腎臓検診・心臓検診に対して学校保健部会学校健診委員会が行う精度管理について説明いたしました。

・母体保護法指定医師の指定

- 1) 母体保護法指定医師審査委員会において、59名を母体保護法指定医師として指定いたしました。新規指定医師等に対しては、指導講習会を実施しております。
平成31年3月末日における母体保護法指定医師は489名です。
- 2) 母体保護法指定医師に対し、母体保護法指定医師講習会を開催しており、シルバーカード講習会については、6月9日(土)175名、9月15日(土)128名、11月10日(土)162名、ゴールドカード講習会については、7月21日(土)317名、8月18日(土)199名の参加者がありました。

(10) 医療保険・介護保険の充実

(医療保険関連)

・社会保険

- 1) 保険診療の質的向上及び適正化を図るため、保険医療機関に対する指導監査の立会いを実施いたしました。
- 2) 8月19日(日)に「中部医師会連合社会保険特別委員会」が開催され、各県の指導監査実施状況及び診療報酬改定に係る問題点等について協議・報告、意見交換が行われました。
- 3) 9月5日(水)、10月4日(木)、2月27日(水)に「平成30年度新規指定・指定更新時集団指導」を東海北陸厚生局、愛知県との共催で開催いたしました。
- 4) A会員（平成30年5月末現在）を対象に「社保集団指導講習会並びに医療安全説明会」を6回（10月24日(水)【リモート会議システムによる映像配信含む】、11月7日(水)、12月6日(木)、2月2日(土)、2月7日(木)、3月7日(木)）開催いたしました。

(介護保険関連)

・介護保険

- 1) 地域医療介護委員会では介護保険、高齢者福祉、障害者福祉、認知症対策等に係る関連

事業の検討、各地域の諸問題に関する情報交換を行い、地区医師会及び行政との連携体制の強化を図りました。

- 2) 病院に勤務する医師、看護師、薬剤師、リハビリ職種を始めとした多職種の医療従事者に対し、「医療従事者の認知症対応力向上研修」を開催し、8月4日(土)92名、9月29日(土)80名、10月27日(土)82名、計254名の参加者がありました。
- 3) 8月5日(日)に「所定疾患施設療養費(Ⅱ)にかかる研修会」を開催し、117名の参加者がありました。
- 4) 8月19日(日)に「中部医師会連合介護保険特別委員会」が開催され、「介護分野の最新動向と医師会・かかりつけ医の役割」と題し、日本医師会常任理事江澤和彦先生の講演が行われました。
- 5) 8月26日(日)に日本医師会主催「地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」が開催され、本会館及びリモート会議システムによる9地区医師会(一宮市、瀬戸旭、半田市、春日井市、尾北、豊橋市、岡崎市、碧南市、豊田加茂)にて計704名の参加者がありました。
- 6) 愛知県下で開業又は勤務する医師(名古屋市医師会を除く会員)に対し、「かかりつけ医認知症対応力向上研修」を開催し、10月20日(土)73名、11月8日(木)本会館及びリモート会議システムによる7地区医師会(一宮市、半田市、春日井市、尾北、岡崎市、碧南市、豊田加茂)にて60名、計133名の参加者がありました。
- 7) 12月8日(土)に「保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム(テーマ:医師会がつなぐ医療と介護の連携～在宅医療サポートセンター事業の成果と今後の展望～)」を開催し、173名の参加者がありました。
- 8) 1月19日(土)に「認知症サポート医フォローアップ研修」を開催し、93名の参加者がありました。
- 9) 本会在宅医療対応医療機関検索システム「あいち在宅医療ネット」を運営してまいりましたが、地区医師会及び市町村単位による地域の医療・介護資源の把握が整合的かつ効率的に進められていることもあり、本検索システムは平成31年3月末をもって公開を停止することになりました。

(11) 医療安全対策の推進

・医療事故・医事紛争対策

- 1) 医療事故・医事紛争対策については、医療過誤の未然防止、医事紛争処理、医療賠償等の観点から、医療安全対策委員会において種々検討いたしました。さらに、実効性のある医事紛争解決と医療安全のあり方、医療事故調査制度について、医療安全対策小委員

会で検討いたしました。

- 2) 6月8日(金)、10月19日(金)に愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会を開催するための、愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会を開催し、医療事故調査制度に関する情報交換、支援団体の支援内容等について報告・協議いたしました。
 - 3) 3月9日(土)、3月10日(日)に日本医師会館において、日本医師会「医療事故調査制度に係る平成30年度『支援団体統括者セミナー』」に医師、看護師と共に参加し、さらなる円滑な制度運用に向けて、継続的な人材の育成を続けております。
 - 4) 9月22日(土)に栄ガスホールにおいて、医療従事者向けの医療事故調査制度に関する研修会を愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会主催で開催いたしました。座長に同協議会構成員/愛知医科大学病院医療安全管理室・准教授(副部長)災害医療研究センターの児玉貴光先生をお招きし、「医療事故調査報告書の司法手続における位置付けについて」をテーマに同協議会構成員/後藤・太田・立岡法律事務所の服部千鶴弁護士に、「ばらつきを生まない医療事故調査のために」をテーマに同協議会構成員/名古屋大学医学部附属病院副院長医療の質・安全管理部長の長尾能雅先生にご講演いただき、162名の参加者がありました。
 - 5) 11月13日(火)にミッドランドホールにおいて、医療従事者向けの医療事故調査制度に関する研修会を愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会主催で開催いたしました。「医療事故調査制度に関連する症例：実際、明日あなたの病院で起こった場合どうしますか？準備はできてますか？」をテーマに同協議会構成員/藤田医科大学病院教授医療の質・安全対策部安全管理室長の伊東昌広先生にご講演いただき、141名の参加者がありました。
 - 6) 3月15日(金)に東京第一ホテル錦において、愛知県下の医療事故調査等支援団体との協力・連携を目的とした、愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会を開催し、医療事故調査制度に関する情報交換、支援団体の支援内容等について報告・協議いたしました。
 - 7) 日本医師会「医師賠償責任保険」の関係では、15件を日本医師会へ付託いたしました。また「日医医賠責特約保険」の加入者は、9月末日現在で1,793名になりました。
 - 8) 医療事故調査制度相談窓口への相談・支援依頼は相談が6件、支援依頼が18件ありました。
 - 9) 平成30年度より「医療事故調査制度における愛知県医師会Aiシステム」の運営を開始し、愛知県下27医療機関のご協力をいただきながら順調な運営を続けております。
 - 10) 平成30年度より「単独で院内事故調査委員会を開催することが困難な医療機関支援システム」の運営を開始し、藤田医科大学病院と愛知医科大学病院のご協力をいただきながら順調な運営を続けております。
- ・医療安全支援センター（苦情相談センター）

- 1) 平成30年度の相談受付件数は新規・継続ケースを合わせて1,785件となりました。相談窓口業務及び対応を相談員（看護師、医療ソーシャルワーカー）が担い、医療に関わる専門的な対応については、担当理事及び医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会の専門委員（医師）によって適切に行われました。
- 2) 4月21日(土)に鯉城ホールにおいて、平成30年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第1回講演会を開催いたしました。「エラー防止と現場力強化で医療安全：ヒューマンファクターの基礎知識」をテーマに、早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科教授小松原明哲氏にご講演いただき、308名の参加者がありました。
- 3) 7月5日(木)に開催された、平成30年度愛知県等医療安全支援センター担当者連絡会議に参加し、関係機関との情報交換を行いました。
- 4) 7月14日(土)にTKPガーデンシティ栄駅前において、平成30年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第2回講演会を開催いたしました。「『確認』の奥深さ～いつ・誰が・何を何と・どうやって?～」をテーマに、京都大学医学部附属病院医療安全管理部教授松村由美先生にご講演いただき、369名の参加者がありました。
- 5) 9月1日(土)に東建ホール・丸の内において、平成30年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第1回事例検討会を開催し、225名の参加者がありました。
- 6) 11月17日(土)に愛知県医師会館9階大講堂において、平成30年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第2回事例検討会を開催し、249名の参加者がありました。
- 7) 1月19日(土)に名古屋市立大学桜山（川澄）キャンパスさくら講堂において、平成30年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第3回講演会を開催いたしました。「全員参加での5S活動への取り組み～磐田市立総合病院の活動例から～」をテーマに、磐田市立総合病院事務部経営企画課主任伊藤 隆氏にご講演いただき、220名の参加者がありました。
- 8) 『愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）事例検討会報告集2018』を作成し、会員始め関係機関へ配付いたしました。

・医療安全対策

- 1) 平成22年度より医療安全対策の一環として運営している愛知県医師会剖検システムは、愛知県下四大学病院の病理部門のご協力をいただき、順調な運営を続けております。平成31年3月には、「愛知県医師会剖検システム利用の手引」を改訂し、愛知県医師会A会員を始め県下各医師会、県下病院に配付いたしました。
- 2) 10月24日(水)にJPタワーホールにおいて、県民向けの医療安全に関する講演会を開催いたしました。「予防接種の考え方と上手なうち方」をテーマに、名鉄病院予防接種センター

顧問の宮津光伸先生にご講演いただき、94名の参加者がありました。

- 3) 12月14日(金)に名古屋サンスカイルームにおいて、医療従事者向けの医療安全に関する講演会を開催いたしました。「病院内における自殺事故予防と事後対応、スタッフ・ケア」をテーマに、札幌医科大学医学部神経精神医学講座主任教授の河西千秋先生にご講演いただき、101名の参加者がありました。
- 4) 2月27日(水)に名古屋サンスカイルームにおいて、医療従事者向けの医療安全に関する講演会を開催いたしました。「時代によって変わるICのあり方～説明義務違反が絡む医療紛争から見えるポイント～」をテーマに、SOMPOリスクマネジメント株式会社の星野智史先生にご講演いただき、200名の参加者がありました。

(12) 医療施設の整備

・共同利用施設

11月3日(土・祝)に名古屋マリオットアソシアホテルにて「平成30年度中部医師会連合共同利用施設連絡協議会」を開催いたしました。また、共同施設委員会において、各施設の課題について議論を行いました。

・臨床検査精度管理

県下における臨床検査施設の実態把握と精度向上を図る目的で、直送方式の精度管理調査(血清学・血液学・病理学・生化学)を実施いたしました。また、2月6日(水)に愛知県医師会館にて精度管理研修会を開催し、愛知医科大学病院中央臨床検査部教授の中山享之先生を講師に迎え、特別講演として「細胞療法とそれを成立させる検査医学」をテーマにご講演いただき、80名の参加者がありました。

(13) 会員の福祉の向上

・労働保険事務組合

委託事業所数は83件(3月31日現在)であり、前年度から2件の減少がありました。事務手続きは社会保険労務士事務所へ委託しており、手続き件数は取得92件、喪失102件でした。

・生命保険団体取扱い

生命保険団体取扱事務の現状は、現在7社、契約人数559人、契約件数834件であり、月掛取扱保険料は、55,248,834円でした。〈別表6参照〉

・会員相談窓口

3月末日までの一般相談件数は98件あり(その内、医療安全対策委員会で諮られた事例は1件)、診療報酬に関する相談は210件でありました。相談の対応については、担当理事を始め、専門家の見解を得て、適切に行っております。

・事業概要等説明会

- 1) 平成29年3月～平成29年12月入会の新入会員を対象に、4月5日(木)に開催いたしました。
内容としては、「医師会の機構と運営」「保険診療上の留意点」「在宅医療・地域包括ケア」「広報・広域予防接種・IT関連について」「苦情相談、会員相談窓口」「医療安全」について、それぞれ説明を行い、104名の参加者がありました。
- 2) 平成30年1月～平成30年7月入会の新入会員を対象に11月24日(土)に開催いたしました。
内容としては、「医師会の機構と運営」「保険診療上の留意点」「在宅医療・地域包括ケア」「苦情相談、会員相談窓口、医療安全」についてそれぞれ説明を行い、92名の参加者がありました。

(14) 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動

(渉外)

・中部医師会連合

中部医師会連合の事業年度は規約により、7月1日から翌年6月30日までの1年間であるため、平成30年4月～6月までは前年度に引き続いて石川県が、7月からは愛知県が主務担当となりました。常任委員会13回、常任委員会懇談会2回、日医代議員協議会2回が開催されました。社会保険特別委員会は1回、介護保険、広域災害・救急医療特別委員会は各2回、いずれも名古屋市内で開催されました。11月10日(土)に開催された委員総会において、協議、検討内容について各委員長より報告されました。加えて、甚大な災害発生を鑑みJMATの迅速かつ効率的な運用が実施できるよう、中部医師会連合災害時医療救護協定を締結するに至りました。また、事務局長連絡協議会は2回開催されました。次年度主務担当県は富山県になりました。

・関西医師会連合

今年度の主務担当県は和歌山県で、8月4日(土)に京都市において関西医師会連合常任委員会が開催されました。次年度主務担当県は福井県になりました。

(IT化対策)

・ホームページ・IT化対策

- 1) リモート会議について、9地区医師会（一宮市、瀬戸旭、半田市、春日井市、尾北、豊橋市、岡崎市、碧南市、豊田加茂）と本会との間で相互通信テスト、日本医師会遠隔会議システムの再中継、研修会の実地運用・委員会のリモート開催等、運用を開始いたしました。ホームページ・IT化対策委員会では、リモート会議システムを利用して委員会を運用し、今後の課題等について議論を行いました。
- 2) 災害時安否情報確認システムについて、定期的に疎通確認を実施いたしました。また、

実運用については、救急委員会で行うことといたしました。

- 3) 会員への情報提供を迅速に行うため、ホームページ及び愛医通信を運用し、ホームページについては4月より正式にリニューアル版となり、内容の充実に努めました。

(広 報)

・広 報

医師会活動等を報告する本会機関誌「愛知医報」を毎月2回（1日・15日）発行いたしました。掲載内容・構成については広報委員会において検討・決定いたしました。

・ 対外広報

10月18日(木)、1月24日(木)に報道関係者との懇談会を開催し、医療問題等について積極的に話し合いを行いました。(別表7参照)

(15) 医師・医療関係従事者対策

(医師確保対策事業の推進)

・ 医師確保

- 1) 事務局内に愛知県医師会地域医療人材育成センター（ドクターバンク）窓口を開設し、医師の職業紹介事業を行っており、愛知県地域医療支援センター（内海真センター長）と連携して対応しております。愛知医報並びにホームページにてドクターバンクに登録のある求人医療機関の情報発信を行い、求職医師に最新情報を随時提供できるよう努めております。専従職員による、夜間対応や医療機関への訪問等、求人機関、求職者の希望に柔軟に対応いたしました。平成30年度の紹介件数は43件で、採用件数は12件でありました。
- 2) ドクターバンクを周知するため、チラシを作成し、愛知県医師会会員をはじめ県下病院等へ配付いたしました。
- 3) ドクターバンクシステムのリプレースを開始し、求人・求職における要望の増加・多様化への対応および保守性の向上等、運用改善を図ることといたしました。

・ 男女共同参画

- 1) 近年、医療現場で働く女性医師数の増加が著しく、女性の活躍の場が増えている一方で、医師としてのキャリア形成と家事・育児との両立を始めとする数多くの問題があります。昨今の医師不足の中、これからも増加していくであろう女性医師や女子医学生の活用は必要不可欠なことと考え、多くの諸問題に注視し、共同参画の実現に向け、男女それぞれの役割等、広い視野を持って取り組みました。
- 2) 10月6日(土)に愛知県医師会館にて講師に一般社団法人高知医療再生機構の倉本 秋理事長をお招きし「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への

講習会」を開催いたしました。

- 3) 日本医師会から依頼を受け、女性医師支援、特に女性医師のキャリア形成・継続の支援を目的に、医学生や研修医等、若い世代の女性医師を対象とした講演会を企画し、2月6日(水)に名古屋市立大学において「医学生、研修医等をサポートするための会」を開催し、63名の参加者がありました。

・若手医師対策

4月28日(土)にANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて、臨床研修指定病院の病院長、指導医、研修医の先生方を対象として、名古屋市医師会との共催で「愛知県医師会・名古屋市医師会 新研修医並びに指導医ウェルカムパーティ」を開催し、東海北陸厚生局の堀江 裕局長より「初期臨床研修医に必須の保険診療の知識」と題してご講演いただきました。医師会関係者を含め191名の参加者がありました。

・臨床研修医の入会促進

平成29年度より、臨床研修医が入会することができるよう定款等の規程の整備を各地区医師会に依頼してまいりましたが、新たに平成30年度より入会可能となった地区の臨床研修指定病院及び地域医療支援病院を順次訪問し、病院長や指導医に臨床研修医の入会について説明及び依頼いたしました。3月末現在で388名(うち、新たに298名)の先生方にC会員としてご入会いただきました。

(医療従事者対策)

・医療従事者対策

- 1) 事務局内に愛知県医師会医療従事者関係無料職業紹介所を開設し、医療従事者の職業紹介事業を行っておりましたが、令和元年10月をもって事業を廃止することといたしました。
- 2) 医療関連職検討委員会において、各看護学校より入学・卒業、准看護師資格取得状況等を報告され、問題点等を検討いたしました。また、愛知県下にて准看護師養成所の学生募集が円滑に行えるよう検討いたしました。
- 3) 医療事務員講習会を9・10・11月に開催し、全15日間、30講座を行いました。12月には資格認定試験を行い、78名が受験し全員合格いたしました。
- 4) 医療機関の事務職員が経営管理等の観点から病床機能の分化及び地域医療連携を進めていくことが、病床の機能転換や医療資源の効率化の推進に繋がると考えられます。本会では愛知県から「地域医療連携研修事業」を受託し、地域医療連携の必要性を理解して地域における自院の役割を主体的に考えることができる人材の養成を目的とした「病院事務職員のための教育ワークショップ」を開催いたしました。「これからの病院職員は何を武器に持つべきか」をテーマに10月20日(土)24名、2月23日(土)27名、計51名の参加者がありました。

〈医療秘書学院〉

- 1) 平成27年度よりあいちビジネス専門学校（全日制）へ運営を委託しており、平成30年度は84名が入学いたしました。
- 2) 10月30日(火)にあいちビジネス専門学校にて、第21回医療保険請求事務実技試験が行われ、51名が合格いたしました。
- 3) 2月3日(日)にあいちビジネス専門学校にて、第39回日本医師会医療秘書認定試験が行われ、69名が合格いたしました。
- 4) 3月8日(金)にANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて、あいちビジネス専門学校の卒業式が行われ、85名が卒業いたしました。

(16) 会務運営・総務・財務

・会館整備

8月及び9月に消防点検を実施し、非常放送や火災感知器等の消火設備の動作確認を行いました。また、定期点検も各法に基づいて適正に実施いたしました。

9月には、地下の排気ファンにおいても経年劣化から異常が確認されたため、ベアリング等の部品を一部交換いたしました。また、3月には不具合のあった地下電気室の電源切替開閉器の交換工事の他、災害時における活動維持のために自家発電設備のオーバーホール及び自家発電用の重油タンクの清浄・重油の補充を行いました。

・会館運営

日常における法定清掃を適正に行い、会館の維持管理に努めました。また、会館管理規程に則り、適正な会館運営をいたしました。〈別表8参照〉

4月には事務局の業務編成に伴い3階事務局に棚を購入し設置。さらに5階LRAの部屋を書庫へと改修いたしました。また、6月には2階応接・会議室を改修いたしました。

・会員名簿の作成

平成30年版会員名簿（6月現在）を作成し、平成31年2月1日発行の愛知医報にCD版を同梱して発送いたしました。（A会員の一部希望者には冊子も発送いたしました。）

(17) その他

・第30回日本医学会総会2019中部

- 1) 平成31年4月27日(土)～29日(月・祝)に名古屋市で開催される第30回日本医学会総会2019中部の参加登録について、7月、9月、10月、11月、1月の県下医師会長等協議会において、事前参加登録を依頼いたしました。また、本会役員より、各地区医師会役員に直

接電話するなど、積極的に参加登録を呼びかけました。

その他、医学会総会ホームページから直接登録するWEB申込に加え、別途FAXを活用し申請された情報を本会において取りまとめ登録し、合わせて4,200名を超える会員の先生方に事前参加登録をしていただきました。

- 2) 本会が担当するソーシャルイベントにおいて、4月13日(金)、7月17日(火)、12月7日(月)に世話人会を開催し、実施日時、実施方法等について協議いたしました。また、9月1日(土)よりホームページにおいて参加者の募集を掲載し、12月には県下各医師会へ開催を周知しました。

・倫理委員会

審査申請が1件あり、1月9日(水)に倫理委員会を開催いたしました。また、第32回定例理事会において承認を得ました。

会 員 数 〈別表1〉

平成31年3月31日現在の本会会員数は9,889名で県下医師会別は下表の通りであります。

区 分	会 員 数
名古屋 市	3,820
一宮 市	641
瀬戸 旭 市	243
半田 市	137
春日井 市	320
津島 市	85
小牧 市	117
東海 市	107
岩倉 市	50
東名古屋 市	243
西名古屋 市	169
尾北 市	271
稲沢 市	131
海部 部	256
知多 郡	287
豊橋 市	519
岡崎 市	454
豊川 市	180
碧南 市	56
刈谷 市	301
豊田加茂 市	496
蒲郡 市	79
安城 市	220
西尾 市	118
北設楽 郡	7
新城 市	42
田原 市	51
名大 大	161
名古屋市大 大	115
藤医大 大	82
愛医大 大	131
合 計	9,889

物故会員〈別表2〉

(平成30年4月～平成31年3月届出分)

氏名	年齢	地区	死亡年月日
岩田容子様	58歳	名古屋市	H29.9.29
眞砂雅洋様	84歳	名古屋市	H30.1.15
福田浩三様	90歳	名古屋市	H30.1.18
大橋平治様	91歳	豊川市	H30.2.12
渡仲三様	91歳	名古屋市立大学	H30.2.14
池田信男様	69歳	名古屋市	H30.3.6
田中肇様	96歳	津島市	H30.3.9
有吉巍様	93歳	名古屋市	H30.3.22
松尾富之様	89歳	瀬戸旭	H30.3.30
本城秀次様	68歳	名古屋大学	H30.3.31
小林恒久様	92歳	豊川市	H30.4.6
金澤喜夫様	92歳	名古屋市	H30.4.10
土方孝子様	73歳	名古屋市	H30.4.18
宇佐美一政様	75歳	一宮市	H30.4.19
村松泰様	73歳	蒲郡市	H30.4.30
原正敏様	98歳	一宮市	H30.5.7
菅沼英二様	86歳	豊川市	H30.5.17
杳名義雄様	92歳	安城市	H30.5.20
吉田公平様	93歳	岡崎市	H30.5.21
細野英之様	74歳	瀬戸旭	H30.6.4
清水敏子様	84歳	豊橋市	H30.6.4
早川雅男様	98歳	西名古屋	H30.6.6
津荷龍生様	66歳	尾北	H30.6.12
鷺見廣輔様	85歳	岡崎市	H30.6.16
小出忠孝様	87歳	名古屋市	H30.6.22
上條俊之様	89歳	豊橋市	H30.7.19
眞野文雄様	96歳	津島市	H30.7.22
早川昌昭様	91歳	豊田加茂	H30.7.23
柴田康行様	51歳	名古屋市	H30.7.24

神谷千秋様	82歳	名古屋	市	H30.7.28
大野敏郎様	91歳	名古屋	市	H30.8.2
木村裕様	75歳	稲沢	市	H30.8.9
浅井和子様	89歳	名古屋	市	H30.8.11
森島雅夫様	85歳	名古屋	市	H30.8.12
柴田温三様	80歳	名古屋	市	H30.8.21
久米英明様	91歳	名古屋	市	H30.8.22
長谷川康紀様	75歳	名古屋	市	H30.8.28
加藤晃様	92歳	瀬戸	旭	H30.8.29
日野康司様	73歳	一宮	市	H30.8.30
林釗様	90歳	名古屋	市	H30.9.1
井上洋様	69歳	一宮	市	H30.9.1
湯浅康平様	90歳	西名古屋	市	H30.9.11
室裕之様	90歳	名古屋	市	H30.9.11
上田準一様	80歳	蒲郡	市	H30.9.14
佐分妙様	94歳	一宮	市	H30.9.15
安藤峯子様	65歳	海部	市	H30.9.23
余語元夫様	95歳	名古屋	市	H30.9.29
岡田保様	85歳	名古屋	市	H30.9.29
加藤友義様	83歳	名古屋	市	H30.10.3
鈴木隆郎様	86歳	小牧	市	H30.10.10
清水隆様	79歳	名古屋	市	H30.10.19
小川靖夫様	85歳	豊川	市	H30.10.21
曾我恒夫様	90歳	名古屋	市	H30.10.22
中村卓様	81歳	一宮	市	H30.11.7
長谷川寛様	61歳	西尾	市	H30.11.20
平松聖史様	50歳	安城	市	H30.11.20
柘植一成様	90歳	名古屋	市	H30.11.24
平松秀樹様	58歳	名古屋	市	H30.12.3
太田一二様	94歳	瀬戸	旭	H30.12.14
吉田弘道様	92歳	尾北	市	H30.12.19
岡島幸代様	79歳	豊田	加茂	H30.12.19

澤田 収 様	92 歳	名古屋 市	H30.12.21
都築 敏男 様	85 歳	西尾 市	H30.12.21
竹腰 昭道 様	89 歳	尾北	H30.12.22
朝岡 力 様	89 歳	豊橋 市	H30.12.23
奥村 秀穂 様	92 歳	名古屋 市	H30.12.28
若山 治朗 様	87 歳	岡崎 市	H30.12.28
田中 伊佐武 様	59 歳	海部	H31.1.11
丸井 逸郎 様	88 歳	名古屋 市	H31.1.18
市岡 弘 様	88 歳	名古屋 市	H31.1.18
山本 直明 様	89 歳	西名古屋	H31.1.22
原田 孝 様	91 歳	一宮 市	H31.1.28
石黒 久雄 様	84 歳	一宮 市	H31.1.28
横山 絢児 様	92 歳	安城 市	H31.1.31
長田 三和子 様	81 歳	碧南 市	H31.1.31
加藤 忠雄 様	87 歳	名古屋 市	H31.2.5
榊原 慎三 様	93 歳	名古屋 市	H31.2.13
瀬川 昂生 様	79 歳	豊川 市	H31.2.14
高橋 一彦 様	96 歳	名古屋 市	H31.2.18
中井 嘉雄 様	85 歳	名古屋 市	H31.2.18
菅野 英男 様	87 歳	名古屋 市	H31.2.26

以上81名

日本医師会生涯教育講座〈別表3〉

【外科】	
日時	平成30年8月16日(木)14:00~16:00
会場	愛知県医師会館 地下健康教育講堂
共催	愛知県外科医会
テーマ	乳がん
司会	愛知県外科医会生涯教育委員会委員長 錦見尚道
座長	愛知県外科医会副会長 山内晶司
演題1	乳がんの画像診断における最近の情報
講師	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 放射線科診療部長・乳腺科診療医長 遠藤登喜子
座長	愛知県外科医会理事 大浜寿博
演題2	乳癌外科治療の現状と将来
講師	名古屋第一赤十字病院乳腺・内分泌外科 乳腺センター長 岩瀬拓士
参加者50名	

【産婦人科】	
日時	平成30年8月18日(土)14:30~17:00
会場	愛知県医師会館 9階大講堂
共催	愛知県産婦人科医会
司会	名古屋市立東部医療センター副院長 村上 勇
演題1	母体保護法の趣旨と適正な運用について
講師	愛知県産婦人科医会理事 産科婦人科上野レディースクリニック理事長 上野直樹
座長	愛知県産婦人科医会理事 名古屋第二赤十字病院第一産婦人科部長 山室 理
演題2	“Third Party ART”における生殖倫理的課題
講師	名古屋学芸大学看護学部教授 菅沼信彦
座長	愛知県産婦人科医会理事 藤田保健衛生大学医学部周産期医学講座教授 関谷隆夫
演題3	無痛分娩の安全性向上に向けて
講師	順天堂大学医学部産婦人科学講座・大学院医学研究科産婦人科教授 板倉敦夫
参加者199名	

【内科】	
日 時	平成30年 9 月 1 日(土)14：00～17：00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県内科医会
司 会	愛知県内科医会会長・愛知県医師会生涯教育委員会委員 安藤忠夫
演題1	多剤耐性菌対策における抗菌薬適正使用
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学分野教授 八木哲也
演題2	高血圧治療－日本における降圧目標は変わるのか？－
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科心臓・腎高血圧内科学教授 大手信之
演題3	一般内科医が知っておくべき慢性腎臓病診療とその進歩
講 師	愛知医科大学腎臓・リウマチ膠原病内科教授 伊藤恭彦
参加者78名	

【眼科】	
日 時	平成30年 9 月 8 日(土)15：00～18：00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県眼科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 加地 秀
演題1	網膜変性診療の最新のトピックス
講 師	東北大学大学院医学系研究科眼科学教室視覚先端医療学寄附講座准教授 西口康二
演題2	複視に対する対処法
講 師	兵庫医科大学眼科学講座准教授 木村亜紀子
参加者161名	

【精神科】	
日 時	平成30年 9 月27日(木)14：00～15：30
会 場	愛知県医師会館 8 階803～804会議室
共 催	愛知県精神科医会・愛知県精神科病院協会・愛知精神神経科診療所協会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 村瀬聡美
演題 1	育ちの観点からみた発達障害の理解と支援
講 師	医療法人和音会 かずおメンタルクリニック院長 大瀧和男
参加者28名	

【皮膚科】	
日 時	平成30年10月13日(土)15：00～17：00
会 場	栄ガスビル 5 階 栄ガスホール
共 催	愛知県皮膚科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 春原晶代
演題 1	皮膚外科疾患治療を振り返る
講 師	藤田医科大学医学部皮膚科学講座臨床准教授 有馬 豪
演題 2	クリニックでみかける一般皮膚疾患の診断と治療
講 師	愛知医科大学医学部皮膚科学講座講師 高間寛之
参加者63名	

【耳鼻咽喉科】	
日 時	平成30年10月20日(土)16:00~18:00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県耳鼻咽喉科医会
司 会	愛知県耳鼻咽喉科医会副会長 西山禮二
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 浅田貴康
演題1	ANCA関連血管炎性中耳炎の診断と治療
講 師	旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座講師 岸部 幹
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 加藤一壽
演題2	耳鼻咽喉科領域における性感染症の診断と治療
講 師	藤田医科大学医学部腎泌尿器外科、 医療の質・安全対策部感染対策室長・教授 石川清仁
参加者154名	

【小児科】	
日 時	平成30年11月18日(日)14:30~17:00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県小児科医会
司 会	愛知県小児科医会研修委員会委員 花田直樹
演題1	思春期の不定愁訴への対応（起立性調節障害を中心に）
講 師	大阪府済生会茨木病院小児科部長 松島礼子
演題2	乳幼児健診における子育て支援
講 師	あきやま子どもクリニック院長 公益社団法人日本小児科医会理事 秋山千枝子
参加者95名	

愛知県医師会健康教育講座〈別表4〉

回数	開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
847	5月10日	人工関節置換術の実際と最近の進歩	小牧市民病院 整形外科 部 長 山 田 邦 夫	203
※848	5月13日	①CKDの原因となる病気 ②CKD進行予防のための生活習慣 ③CKDと食事について"	豊橋市民病院 医 師 山 川 大 志 成田記念病院 看護師 山 本 美 和 豊川市民病院 管理栄養士 亀 山 幸 雄	110
※849	5月19日	①女性のおしっこの悩み ②男性のおしっこの悩み	国立長寿医療研究センター 泌尿器科外科 西 井 久 枝 藤田保健衛生大学 泌尿器科 講 師 市 野 学	230
850	5月28日	女性に多い泌尿器の病気	藤田保健衛生大学 泌尿器科 教 授 佐々木 ひと美	256
※851	6月17日	楽しくできる糖尿病と認知症予防	独立行政法人国立病院機構京都 医療センター 臨床研究センター予防医学研究 室 室 長 坂 根 直 樹	222
852	6月28日	その湿疹、何かにかぶれていませんか？	藤田保健衛生大学坂文種報徳会 病院 総合アレルギー科 准教授 鈴 木 加余子	214
853	7月12日	卵子は老化する ～子や孫のために誰もが知って おきたい卵子老化の真実・卵子から 家族や人生設計を考えよう～	医療法人浅田レディースクリ ニック 理事長 浅 田 義 正	83
854	8月2日	鼻の役割 -あなたの鼻は役に立っています か？-	杉山耳鼻咽喉科 院 長 杉 山 貴志子	160

※855	8月18日	地域支援に活かすリハビリテーションの力 －健康増進からロボットリハビリテーションの活用まで－	藤田保健衛生大学医学部 ロボット技術活用地域リハビリ 医学寄付講座 教授 太田 喜久夫	133
※856	8月28日	最近の乳癌診療について	碧南市医師会診療所 医師 愛知県トリアスロン協会副 会長 竹内 元一	49
857	9月13日	大人の発達障害 理解と対応について	医療法人仁精会三河病院 理事長 大賀 肇	228
※858	9月15日	いつまでも健やかに見えるために ～加齢による病気を理解しましょう～	名古屋大学大学院医学系研究科 眼科学教授 寺崎 浩子	150
※859	10月15日	婦人科疾患と内視鏡手術 －傷が小さく負担の少ない治療法を目指して－	常滑市民病院 婦人科部長 黒土 升蔵	23
860	10月31日	こどものワクチン	江南厚生病院こども医療センター 第二小児科 部長 後藤 研誠	44
※861	11月11日	①脳卒中ってどんな病気？ ②心疾患と脳卒中 ③脳に詰まった血栓を取り去る！ 血栓回収療法について	福井脳神経外科 院長 福井 一裕 豊橋ハートセンター 循環器内科 部長 寺島 充康 豊橋医療センター 脳神経外科臨床研究 部長 酒井 秀樹	150
※862	11月19日	健康長寿の秘訣を教えます ～今日から変える食事と運動～	国立長寿医療研究センター 病院長 荒井 秀典	110
863	11月29日	便秘と腸内細菌・糞便移植	藤田医科大学 消化器内科 教授 大宮 直木	203

864	12月3日	今更・・・脳卒中って何？	済衆館病院 脳神経外科 部長 飯塚 宏	155
865	1月10日	白内障手術の進歩	名古屋市立大学 眼科講師 平野 佳男	273
866	2月5日	リビングウイル ～安らかな最期を迎えるために	愛知県がんセンター 名誉総長 大野 竜三	281
※867	2月9日	耳の働きと病気－耳よりな話－	杉山耳鼻咽喉科 院長 杉山 貴志子	65
※868	2月17日	心不全になる前に出来ること なったら気に掛けること	岡崎市民病院 循環器内科統括 部長 田中 寿和 心不全看護認定看護師 細田 紗也香 管理栄養士 鶴田 恵	63
869	3月4日	口から食べたい！ －のみこみの障害と対応	名古屋大学 耳鼻咽喉科 准教授 藤本 保志	199
※870	3月24日	せほねの病気の情報とのつきあい 方 ～「本当は怖い腰痛」って本当？ ～	岡崎市民病院 整形外科 部長 松本 明之	70

※ は地域開催

難病相談室取扱いケース内容〈別表5〉

ケ ー ス		神 経	耳 鼻	眼	膠原病	皮 膚	骨・関節	腎 臓	循環器	消化器
	新規ケース	234	34	170	104	32	86	33	25	185
	継続ケース	308	21	87	130	47	56	28	30	213
	計	542	55	257	234	79	142	61	55	398
数		呼吸器	内分泌 及び代謝	脳外科	血液	小児	心身	血管外科	その他	合 計
	新規ケース	45	32	25	35	14	38	15	93	1,200
	継続ケース	48	73	39	44	7	87	4	58	1,280
	計	93	105	64	79	21	125	19	151	2,480

取 扱 い 内 容	アセスメント（重複）	
	疾病の背景要因の発見	21
	治療や療養生活への適応	1,489
	家族との関係や家族の生活	231
	住居などの社会生活	230
	就労支援	305
	医療・生活などの経済面	428
	社会復帰への受入れと適応	461
	医療機関利用	331
	その他	58
合 計	3,554	
主なケースワーク措置		
応急的援助	26	
背景調査	27	
相談面接	1,104	
関係調整	1,185	
制度利用	71	
施設利用	14	
グループワーク	43	
その他	10	
合 計	2,480	

新 規 ケ ー ス 紹 介 者	医療機関	85
	保健所・保健センター	143
	福祉事務所	6
	その他公的機関	98
	本人又は家族	435
	広報・ポスター等	299
	新聞・ラジオ・テレビ	2
	その他	132
合 計	1,200	

生命保険団体取扱状況調〈別表6〉

(平成31年3月末現在)

会 社 名	契約人数	契約件数	月掛保険料
日 本 生 命	186 ^人	268 ^件	22,983,672 ^円
ジ ブ ラ ル タ 生 命	16	27	1,855,296
第 一 生 命	80	148	7,650,348
朝 日 生 命	35	49	2,221,871
明 治 安 田 生 命	70	99	5,480,712
三 井 生 命	122	181	9,991,321
住 友 生 命	50	62	5,065,614
合 計	559	834	55,248,834

報道関係者との懇談会〈別表7〉

通算回数	年月日	テ ー マ	医師会参加人数	報道関係者参加人数
222	10月18日	1. 第30回日本医学会総会 2019 中部について 榎尾理事 2. JMAT愛知の活動報告 細川理事 野田理事	4	5
223	1月24日	1. 妊婦加算について 加藤理事 2. 医師の働き方改革と女性医師の現状 小出理事	16	9

会館会議室等使用状況〈別表8〉

会 場 名		件 数
B 1	講 堂	49
4 F	理 事 会 議 室	59
5 F	501 会 議 室	140
6 F	601 会 議 室	99
6 F	研 修 室	121
7 F	情 報 セ ン タ ー 研 修 室	14
8 F	801 会 議 室	117
8 F	802 会 議 室	119
8 F	803 会 議 室	81
8 F	804 会 議 室	82
8 F	805 会 議 室	44
8 F	応 接 室	56
9 F	大 講 堂	172
合 計		1,153

決 議

政府は、人口減少と人生100年時代に備えて社会保障制度改革を行うとしながら、その歳出削減を重点とする施策を進めている。中でも、かかりつけ医以外を受診する際の定額負担の導入は、フリーアクセスを阻害し、健康寿命の延伸を妨げ、高齢者医療における自己負担増は、医療依存度が上がり十分な給付が必要な高齢者の受診抑制を意図するものである。これでは、全世代が安心できる社会は構築できない。

さらに、政府は、都道府県別の診療報酬を設定し、医療費の抑制を図ろうとしている。医療費は全国一律であるべきで、このような施策は、国民皆保険制度を揺るがし、国民と地域医療を混乱させ疲弊させるだけである。

10%への消費増税に向け財政当局は「税制上の抜本的解決に向けて結論を得る」としていたが、現行のままの診療報酬への上乗せ補填と特別償却の拡充と見直しで幕引きを図ろうとしている。しかし、仕入れ構成の違う個別の医療機関の補填不足の解消は、現行の対応では無理であることは明白で、将来、さらなる消費増税が予測されるなか、抜本的解決がなければ、設備投資はさらに困難となり、地域医療は崩壊する。

以上より、我々は国民の健康と医療制度を守るために、下記の如く決議する。

記

- 一、外来受診時定額負担や高齢者の自己負担増は止めよ。
- 一、都道府県別の診療報酬の設定は止めよ。
- 一、控除対象外消費税問題は抜本的に解決せよ。

平成31年3月16日

愛知県医師会第183回（臨時）代議員会

平成30年度事業報告書（平成30年4月～平成31年3月）には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益社団法人 愛知県医師会